

旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業
環境影響評価準備書に関する指摘事項等一覧

※表中のゴシック体の部分は、前回（第 12 回）審査会における追加の指摘事項等を示しています。

■ 事業計画について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
A 事業計画	A-1	造成計画におけるグリーンインフラの検討に関する記述が不十分です。切り盛りの形状の中でのグリーンインフラの考えがあれば、教えてください。 [6/28 審査会]	道路に出来る法面や農地の斜面は、グリーンインフラの観点を取り入れ、斜面地に保水できる構造を考えていきたいと考えています。 [6/28 審査会]	補足資料 1 で説明済 [7/27 審査会]
		切り盛り境のグリーンインフラの処理が非常に重要であることから、地形的な配慮をグリーンインフラ計画として検討してください。 また、その計画の中で盛土の厚さを具体的に記載してください。 [6/28 審査会]	-	
	A-2	調整池 1、2、5、6 は地上式と記載されていますが、調整池 3、4 は地下に何か造ることを考えているのですか。 [6/28 審査会]	調整池 1、2、5、6 がオープン地上式で、調整池 3、4 が地下の調整池を想定しています。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]
	A-3	調整池の地下化は（動植物の）分断の要因となることから、地下化する必要性、構造や接続方法について、現在の検討内容を教えてください。 [6/28 審査会]	地上式調整池も堀込み式であり、地下式の違いは蓋をかけるかどうかです。 調整池 3、4 は上部を公園として利用できるようにするため、蓋掛けとしました。 [6/28 審査会]	補足資料 2 で説明実施 [7/27 審査会]
		仮に透水性舗装なども考えるのであれば、暗渠化した河川にどのように排水していくのか、雨水排水計画をもう少し具体的に示すべきです。 [6/28 審査会]	持ち帰ります。 [6/28 審査会]	
A-4	排水計画と併せ、切り回し河川の形態の妥当性を可能な限り定量的に明記してください。 [6/28 審査会]	-		
A-5	地形的に検討すべき点（豪雨時にどの程度の調整量があるかなど）が多々あることを考慮して、調整池の容量の根拠を示してください。 [6/28 審査会]	-		

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
A 事業計画	A-6	相沢川の最終的な土地被覆面の高さは、暗渠化により繋がるのですか。その場合、どのような空間になるのですか。 [7/27 審査会]	相沢川の暗渠化する位置は、窪んでいるところの自然地形を活かした形で考えており、東西の山の部分の下辺りの計画です。窪んだ部分を埋める計画ではありません。 [7/27 審査会]	補足資料 14 で説明済 [8/31 審査会]
		相沢川について、現状の河川沿い空間の水辺空間への活用と暗渠化の両立を考えたということですか。 [7/27 審査会]	その通りです。 [7/27 審査会]	
		区域内道路 3 号部分の相沢川の暗渠化はどのようなイメージ（道路脇の側溝など）になるのですか。また、完全閉鎖で周辺には緑地を残さないのですか。 [7/27 審査会]	（雨水）幹線並みの暗渠を道路下に埋設する計画です。 この区間は、完全閉鎖で周辺には緑地を残さない考えです。 [7/27 審査会]	
		河川の暗渠化について、現在の川に沿った部分とそれ以外の暗渠化の考え方を記載してください。 [7/27 審査会]	はい。 [7/27 審査会]	
	A-7	補足資料 2 について、大まかな雨水排水計画（調整池や暗渠化する河川への排水方法）はある程度立てておく必要があります。特に調整池に排水する場合は流入量に大きく関わってきます。 [7/27 審査会]	雨水の関係については、可能な限り最新版を載せていきたいと考えています。 [7/27 審査会]	補足資料 28 で説明済 [9/30 審査会]
		評価書の段階では、きちんと検討した結果を記載してください。 [7/27 審査会]		
	A-8 ※	水辺空間の整備について、土地区画整理事業と公園整備事業のどちらの事業で行うのか、また、各事業における整備内容や範囲を明確にしてください。 [7/27 審査会]	次回、お示しします。 [7/27 審査会]	補足資料 21 で説明済 [8/31 審査会]
	A-9	【審議での指摘事項等】 報道によると、テーマパーク誘致撤退等、花博後の再開の計画に少し変更が生じていると思います。本事業のバックグラウンドとして非常に大きいため、一度、説明いただきたいです。 [7/27 審査会]	【事務局回答】 その辺りの計画がどのようになっているのか、事業者に確認します。 [7/27 審査会]	補足資料 13 で説明済 [8/31 審査会]

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
A 事業計画	A-10	<p>補足資料 27 において、平場の確保の必要性として避難地を挙げていることについて、避難地の配置をどのように考えて、平場確保の必要性を記載しているのですか。</p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p>大規模発生時は消防・警察・自衛隊を受け入れて広域的な応援活動を行う予定のため、ある一定の平場が必要だと考えています。</p> <p>調整池 3 は規模が大きく、平面的な利用も結構考えられている（ヘリコプターの着陸も想定）ため、平場を一番確保できる空間と想定しており、消防や避難計画を生む拠点となる施設も考えていることから、ここに平場を設けたいという観点から地下式を選定しています。</p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p>説明済</p> <p>[9/30 審査会]</p>
	A-11	<p>換地設計における適切な配置を根拠立てるため、新たに創出する生息環境が避難ルートになる可能性の有無や、消防・警察・自衛隊を受け入れる範囲など、避難計画を具体化してください。</p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p>＝</p>	<p>説明予定</p> <p>[次回]</p>
	A-12	<p>調整池 3 について、地下式にすると（補足資料の説明で）言われたように聞こえたのですけれど、地上式調整池ということでしょうか。</p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p>調整池 3 と 4 を地下式という形で準備書を作成しましたが、今回、調整池 4 については地上式にするという説明（補足資料 27）です。</p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p>説明済</p> <p>[9/30 審査会]</p>

※ 同日審議の関連事業における指摘、質問事項等

■ 環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
0 全般	0-1	評価について、環境基準等の整合性は記載されていますが、現況との比較という視点が軽視されています。アセスでは、現況を悪化させないという要素が必要ですので、改めてください。 [6/28 審査会]	環境基準の表記の仕方については、環境を悪化させないという前提で、できる対策を記載している部分があります。一応、今回このような図書の書き方をしていますので、ご指摘を踏まえて検討させていただきます。 [6/28 審査会]	補足資料 3 で説明済 [7/27 審査会]
		事業実施においても、可能な限りの環境負荷削減対策を行うという姿勢を持ち続けてください。 [7/27 審査会]	-	-
	0-2	汚染土の搬出車両は、他項目（大気質、騒音、振動、温室効果ガス、交通安全等）の予測に考慮されているのですか。 [6/28 審査会]	土工事の台数に1日7台（往復14台程度）計上して予測しています。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]
1 大気質	1-1	建設機械の稼働に伴う NO ₂ について、環境省の通達の趣旨を踏まえると、現況が 0.04ppm より低い地域で予測値 0.048ppm は環境基準との整合が図られているとは言えません。評価を改めてください。 [6/28 審査会]	-	補足資料 3 で説明済 [7/27 審査会]
2 騒音	2-1	関係車両の走行について、環境基準超過と予測しているにもかかわらず、準備書記載の環境保全措置は効果があまり期待出来ないと思います。 車両が集中しないよう、迂回等の具体的な対策が必要ではないのですか。 [6/28 審査会]	可能な範囲で将来の土地利用者をお願いしていきたいと考えています。 [6/28 審査会]	補足資料 4 で説明実施 [7/27 審査会]
	2-2	関係車両の走行について、事後調査は行わないとのことであり、環境保全措置の実効性に疑問があります。 交通規制に係る交通管理者との協議に当たっては、具体的な対策（大型車の通行規制、深夜帯は居住者のみ通行可能など）を含めて協議する必要があります。 [7/27 審査会]	持ち帰ります。 [7/27 審査会]	補足資料 15 で説明実施 [8/31 審査会]
	2-3	関係車両の走行について、No.7 は現状（環境基準以下）と予測（環境基準超過）で環境が大きく変わります。今後、特にどの部分で問題があるのか、課題が大きそうかということをごひ土地利用者に引き継いで検討してください。 [7/27 審査会]	分かりました。 [7/27 審査会]	

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
2 騒音	2-4	関係車両の走行について、他の道路から迂回して、新たに整備する南北を繋ぐ道路を通過する車両に関しては、やはり本事業で対応しなければいけないのではないかと思います。特に、No.7地点については、騒音の環境基準を超える予測結果であるため、本事業でも何らかの対応が必要ではないかと思います。 [8/31 審査会]	持ち帰ります。 [8/31 審査会]	補足資料 30 で説明実施 [9/30 審査会]
	2-5	関係車両の走行に伴う騒音について、補足資料 30 を踏まえたうえで、No.7地点の環境基準超過に対し、本事業としてどのような対応を行うかを示していたくことが必要だと思います。 [9/30 審査会]	上物の施設の規模が本市環境影響評価条例の規模要件を満たす場合は、将来の土地利用者が環境影響評価を実施し、その時に各々が判断していくことになると思います。 本事業としては、将来の土地利用者に公共交通利用促進や関係車両の効率的な管理等による、車両の効率的な利用促進をお願いすることで、関係車両の走行における影響について低減を図っていきたく考えています。 [9/30 審査会]	説明予定 [本日]
		対象事業実施区域内に新たに区画道路を整備することにより発生する、この地域の土地利用に起因しない交通は、本事業による環境影響だと思いますので、それについては本事業で対応する必要がありますのではないですか。 [9/30 審査会]	通過交通というよりは、観光・賑わい地区に来る車がメインになってきますので、本事業としては、そこにターゲットを絞ってできる対策をやっていきたく考えています。 [9/30 審査会]	
		夜間の環境基準値を超過していますが、深夜に来る車も観光・賑わい地区の車だと考えているのですか。 [9/30 審査会]	本事業としてできる対策として、観光・賑わい地区、物流地区に来る車を抑制する、または分散することをお願いしていくという考えで御理解いただきたいです。 [9/30 審査会]	
		補足資料 30 に記載されている予測について、それぞれの施設に起因する交通量は施設別に切り分けできるのでしょうか。 [9/30 審査会]	施設別にこの程度ということは御説明できるかと思います。 [9/30 審査会]	
		詳細な質疑応答については、事務局通じて委員と個別に行い、その結果を審査会で説明してください。 [9/30 審査会]	＝	

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
4 水質		和泉川の SS が現状悪化と予測されていることについて、供用後の評価として環境保全措置（「造成箇所の速やかな転圧」、「造成法面の速やかな植栽」）の効果を考慮した定量的な予測を検討してください。少なくとも悪化しないことを数字で示せると思います。 [6/28 審査会]	持ち帰ります。 [6/28 審査会]	補足資料 5 で説明実施 [7/27 審査会]
	4-1	補足資料 5 について、法面植栽の流出係数の流域全体への適用は無理があります。法面植栽部分とそれ以外で分けて流出係数を設定するなど、もう少し詳細に計算してください。 [7/27 審査会]	検討します。 [7/27 審査会]	補足資料 16 で説明済 [8/31 審査会]
		評価書では、補足資料 16 のように環境保全措置の効果が十分期待できることをある程度定量的に記載してください。 [8/31 審査会]	-	
	4-2	大門川の BOD は現状では自然浄化されていますが、切回し及び暗渠化で同様の自然浄化が期待されるかは非常に怪しいです。 暗渠化による水質への影響を評価すべきであり、対策も考えておくべきです。 [6/28 審査会]	持ち帰ります。 [6/28 審査会]	補足資料 17 で説明実施 [8/31 審査会]
	4-3	造成工事中のアルカリ排水対策について具体的な内容を丁寧に説明してください。 [6/28 審査会]	検討します。 [6/28 審査会]	補足資料 6 で説明済 [7/27 審査会]
	4-4	セメント系の地盤改良材を使用した場合に六価クロム溶出が心配されることについて、具体的な拡散防止対策を示してください。 [6/28 審査会]	持ち帰ります。 [6/28 審査会]	補足資料 7 で説明済 [7/27 審査会]
	4-5	補足資料 17 について、BOD の低下は藻類の光合成が直接作用しているのではなく、好気性細菌が光合成で供給される水中酸素を利用して溶存有機物を分解することによるものですので、修正してください。 [8/31 審査会]	-	補足資料 31 で説明済 [9/30 審査会]

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
4 水質	4-6	<p>補足資料 17 について、BOD が比較的高い原因が土砂であれば、防止柵の設置はほとんど効果がないです。工場排水に含まれる懸濁物質の堆積が原因であるのであれば、浚渫や工場排水の水質改善しかないのではないかと思いますので、記載されている対策はあまり効果的ではないと思いますので、再度検討してください。 [8/31 審査会]</p>	-	<p>補足資料 31 で説明済 [9/30 審査会]</p>
	4-7	<p>大門川の BOD について、下流側の方が上流側より、流量がかなり多い場合、希釈ということも考えられますので、それも念頭に置くと良いと思います。 [9/30 審査会]</p>	<p>ありがとうございました。 [9/30 審査会]</p>	二
	4-8	<p>大門川の暗渠化について、浄化作用の著しい低下があった際にどのように管理し、対応していくのか、現時点での考えを教えてください。 [9/30 審査会]</p>	<p>モニタリングを行い、基準超過した項目によって対策の内容が変わってくると思いますので、その時点で適切な対策を講じていきたいと考えています。 [9/30 審査会]</p>	説明済 [9/30 審査会]
		<p>そのようなことも資料を出していただけるとありがたいです。 [9/30 審査会]</p>	二	
		<p>仮に水質の悪化が見られた場合、環境保全措置として、晴天時でも調整池に持ってきて、滞留させている間に多少、ばっ気などができれば、生物学的な有機物の分解は十分期待できますので、ある程度、対応が可能かもしれません。そのことを一応、念頭に、環境保全措置の一つの可能性として考えると良いのではないかと思います。 [9/30 審査会]</p>	<p>ありがとうございます。 [9/30 審査会]</p>	
		<p>補足資料 31(1)に記載の「適切な環境保全措置」について、そもそもどのようなことが想定されるのか、可能な限り、評価書段階で明らかにしてください。 [9/30 審査会]</p>	二	

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
5 底質	5-1	堀谷戸川と和泉川流域でも土壌汚染対策工事（掘削工事）による土砂の流出があるにもかかわらず、予測の対象外としている理由を明記してください。 [6/28 審査会]	本事業で河川改修を計画していないため、選定しておりません。調整池で沈降させて排出するため、水質の項目でモニタリングを行うということで整理しています。 [6/28 審査会]	補足資料 8 で説明実施 [7/27 審査会]
	5-2	補足資料 8 について、汚染土壌の掘削除去工事に汚染土壌が流出する可能性もあるため、底質の調査が必要ではないですか。 [7/27 審査会]	モニタリング、事後調査を行う中で水の汚れに問題があれば、底質も確認して汚染が広がらないように工事を進めていきたいと考えています。 [7/27 審査会]	補足資料 20 で説明済 [8/31 審査会]
		汚染土壌の掘削除去工事の時点で仮設調整池は完成しているのですか。 [7/27 審査会]	仮設調整池が完成していない場合は、別途、仮の調整池を設け、しっかり対策しながら排水を考えていきたいです。 [7/27 審査会]	
		仮の調整池を設けて排水することを記載してください。特に土壌汚染対策工事期間の汚染土壌の流出対策を考えておいてください。 [7/27 審査会]	集水域などを設けて対応することは記載していますが、もう少し明確化させて記載します。 [7/27 審査会]	
5-3	補足資料 20 に記載されている対策について、効果が高いのはおそらく集水桝の設置よりも養生シートだと思います。汚染土壌の掘削工事中に降雨になりそうな時には養生シートを掛けることも含めた対策とすることで汚染の拡散が防げるのではないかと思います。 [8/31 審査会]	-	-	
6 地下水	6-1	相沢川流域の工事で帯水層に及ぶ可能性があるとしていることについて、下流域の災害用井戸への影響はないのですか。特に水位、水質、濁りはみてください。 防衛省の地下水調査は、対象事業実施区域外の災害用井戸では調査していないのですか。 [6/28 審査会]	対象事業実施区域内の地下水に影響がないことから、当該区域外の災害用井戸は測定していません。 [6/28 審査会]	補足資料 9 で説明済 [7/27 審査会]
		分かりました。 [6/28 審査会]	-	
	6-2	補足資料 9 について、深度 1～10m の土壌が測定されていますが、表の注釈に記載されているとおり、平成元年度の調査結果ということですか。また、地下水の水質も平成元年度の調査結果なのですか。 [8/31 審査会]	平成ではなく、令和元年度の誤りです。地下水も同様です。 [8/31 審査会]	説明済 [8/31 審査会]
	訂正してください。 [8/31 審査会]	分かりました。 [8/31 審査会]	補足資料 32 で説明済 [9/30 審査会]	

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
7 その他の水環境	7-1	湧水1の涵養源への影響について、見込まれる湧水や地下水涵養の減少の割合、その保全方法を教えてください。 [6/28 審査会]	持ち帰ります。 [6/28 審査会]	補足資料19で説明済 [8/31 審査会]
	7-2	既存の湧水を活用可能な環境がどの程度残り、どのような保全措置によって維持できるのかを明記してください。 [6/28 審査会]		
	7-3 ※	和泉川の流量について、湧水と連動して伏流水も寄与していると思います。湧水4の流量もわからないため、是非それぞれのデータを調べて欲しいです。 [7/27 審査会]	持ち帰ります。 [7/27 審査会]	関連事業で補足説明予定 [本日]
	7-4	湧水を持続的に保全するための空間的な評価に繋がるようなことを図化することはできないのでしょうか。 [8/31 審査会]	現状、空間的な表示ができるだけのデータが多分ないと思いますので、持ち帰り、検討します。 [8/31 審査会]	補足資料36で説明済 [9/30 審査会]
9 土壌汚染	9-1	現時点で国の土壌汚染対策の内容はわからないのですか。 また、国有地の取扱い(売買 or 借地)、土地所有者を教えてください。 [6/28 審査会]	国が土壌汚染対策法第14条の申請を行い、要措置区域に指定された場合は国に対策をお願いします。 形質変更時要届出区域に指定された場合も国にお願いしますが、スケジュールの関係で難しい場合は、土地区画整理事業者として対策を行うことを考えています。 土地所有者は国です。斑状態の国有地を整理して国にお返しします。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]
	9-2	仮に形質変更時要届出区域になった場合、土壌汚染対策の実施主体は今後の話し合いになるのですか。 また、区域指定はいつ頃になる見込みですか。 [6/28 審査会]	国と話し合いを行っています。どちらが行うにしても、横浜市としては国に費用負担を求めていくスタンスに変わりありません。 区域指定の時期はわかりません。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]
	9-3	「掘削除去による措置は行わない計画」とされている南東部の鉛の溶出量基準超過地点については、土壌汚染対策の実施主体によらず、形質変更時要届出区域として残るのですか。 [6/28 審査会]	南東部は形質変更時要届出区域として残ります。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
9 土壌汚染	9-4	汚染土の処理、処分について、単にガイドラインに基づいて行うとするのではなく、環境影響評価では、処理、処分、搬出方法及び搬出時の注意点等を具体的に示すことが必要です。 [6/28 審査会]	持ち帰ります。 [6/28 審査会]	補足資料 10 で説明済 [7/27 審査会]
	9-5	南東部の鉛の溶出量基準超過地点近くに存在する湧水や和泉川下流の災害用井戸への影響は確認しているのですか。 [6/28 審査会]	防衛省の調査結果では、地下水への影響はないとのことであったため、湧水への影響はないと考えています。 [6/28 審査会]	補足資料 18、26 で説明済 [8/31 審査会]
		地下水への影響はないという言葉のみではなく、数字を示してください。 [6/28 審査会]	持ち帰ります。 [6/28 審査会]	
		鉛の溶出量基準超過は深度 8～9m、民有地の地下水は GL-7m と似たような層であり、和泉川下流の災害用井戸への影響を懸念しています。 [7/27 審査会]	今後の事後調査の地点なども含めて次回、説明します。 [7/27 審査会]	
10 動物	10-1	切り回す地点での生物の移植を考えていますか。特に相沢川では準絶滅危惧種や絶滅危惧Ⅱ類も確認されており、このような生物へどのように対処するのですか。 [7/27 審査会]	公園の中の水辺空間の中での程度の設えができるか、代償ができるかということについて、次回、代償（移植含む）措置含めて説明します。 [7/27 審査会]	補足資料 21 で説明済 [8/31 審査会]
	10-2	水路のイメージが沸かないのですが、パイプのようなもので切り回したり、暗渠化の水路をつくるのですか。 [8/31 審査会]	はい、その通りです。 丸か四角か、確定はしていませんが、パイプ又はボックスカルバートで暗渠化する計画です。 [8/31 審査会]	説明済 [8/31 審査会]
	10-3	暗渠化した部分は生物が利用しないから、どんなものでも良いというものではなく、検討の余地があるのであれば、生物が行き来できるようなものを検討してみたいかがですか。 [8/31 審査会]	そのような観点も含めて、今後、検討させていただきたいと思えます。 [8/31 審査会]	補足資料 28 で説明済 [9/30 審査会]
	10-4	<u>施設で使用する光（照明）については、誘引性のない周波数帯の照明を検討して整備に使用するよう配慮してください。</u> [9/30 審査会]	=	=
	10-5	<u>高い建造物・人工物の建設時には、バードストライクが起こる可能性が結構あると思うので、ガラス関係に気を付けて欲しいです。</u> [9/30 審査会]	=	=

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
10 動物	10-6	<p>準備書 P9.10-25 のムクドリのねぐら調査について、秋季の調査時間帯は真っ昼間でねぐらに入る訳はないので、全く関係ないデータなのだろうと思います。冬季は良い時間帯ではあるものの、飛び立ってしまったと記載されていますので、図9.10-3は不要で、修正が必要だと思えます。</p> <p>昼間にねぐらの調査を行ったのかという問題も出てくるため、確認して（次回以降）回答してください。</p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p>はい。</p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p>説明予定 [次回]</p>
11 植物	11-1	<p>準備書の記載方法について、例えば、P9.11-39の表の影響予測では、工事中は、工事による攪乱などの影響と生育地の消失による影響に分けて記載すべきではないですか。また、供用後は記載内容の意味がわかりません。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>確認し、後日回答します。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>補足資料 24 で 説明実施 [8/31 審査会]</p>
	11-2	<p>補足資料 24 の図について、消失、縮小、分断に関することは直接的影響と見受けられるため、予測結果の枠の4つのうち左3つに該当するのではないかと思います。左1つに赤線を追加した理由がわかりません。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	<p>直接的影響でも、全改変で全個体が消失するおそれがあるのであれば、そのまま間接的影響を経由せずに予測結果として影響は大きいという、直通のラインも出てくるということで、赤い線を引かせていただきました。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	<p>補足資料 34 で 説明済 [9/30 審査会]</p>
	11-3	<p>全改変のみ説明できるのではなく、生育地の消失、縮小、分断を生育環境の直接的影響として位置づけなければ、それを環境保全措置の根拠とした際に、間接的影響のみ保全すれば良いと誤解されると思います。再検討してください。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	-	
	11-4	<p>補足資料 24 の図の環境保全措置の検討について、河川の形状の変更は水の流れの変化など、間接的に下流側などの環境に影響が生じるため、直接的影響の波及効果です。予測結果の枠の左から3番目にも該当するのではないかと思いますので、環境保全措置の検討は左2つからのみではなく、3つ含めてではないですか。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	-	<p>補足資料 34 で 説明済 [9/30 審査会]</p>

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
11 植物	11-5	街路樹の樹種の選定に当たっては、生物多様性に配慮し、なるべく、この土地の潜在自然植生を生かした街路樹を選定してください。 [9/30 審査会]	皆さまの意見を踏まえながら検討していきたいと考えています。 [9/30 審査会]	説明済 [9/30 審査会]
	12-1	スライド 16 記載の「草地の一部保全」について、何を対象とするのか、対象とする種によって必要な面積等も踏まえて検討してください。 [6/28 審査会]	規模を含めて検討していきます。地区全体では想定しづらい部分もあるため、準備書段階では、公共施設の中で、例えば道路の植樹帯、植樹帯がどれ位できるかなどについて数字でお示ししていければと思います。 [6/28 審査会]	補足資料 22 で説明実施 [8/31 審査会]
		評価書段階では、明確にしてください。 [6/28 審査会]	-	
	12-2	生態系の評価について、単に農業振興地区を整備するという面積的なことを理由に影響は小さいとは言えないです。周辺の土地利用の状況も踏まえて評価してください。 [6/28 審査会]	-	補足資料 21、22 で説明実施 [8/31 審査会]
12 生態系	12-3	環境保全措置について、ピオトップ等の公園整備事業と被っている話は、どちらの事業で話すべきなのですか。 例えば、土地区画整理事業のアセス中で、ここにもう少し緑地環境を創出してくださいという話になった場合、公園整備事業に影響するのですか。 [6/28 審査会]	区画整理事業で審査していただきたいです。 御指摘の保全環境の創出、草地環境の創出などについては、土地区画整理事業で審査していただけます。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]
	12-4	調整池について、生物多様性と絡めて何か設計される考えはありますか。 大きく改変されるため、少しでも生物多様性に貢献できる可能性のある環境があるのであれば、活かして欲しいです。 [7/27 審査会]	地下式では難しいが、地上式については、御意見を踏まえ、どのような形が良いのかも含めて、今後、検討します。 [7/27 審査会]	補足資料 21 で説明実施 [8/31 審査会]
	12-5	相沢川には貴重な動植物が分布していますが、保全措置の内容は場所が確保される程度の情報であり、生息地の環境が維持できるかどうか、水質など、生物の環境という観点での評価が必要ではないですか。 [7/27 審査会]	次回、設えを含めて説明します。 [7/27 審査会]	補足資料 21、24 で説明済 [8/31 審査会]

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
12 生態系	12-6	補足資料 21 の『環境保全措置のイメージ』の図及び『環境区分のエコトーン断面イメージ』の図について、前者では東端が水路となっていますが、後者では水路の東側にも草地在確保されており、一致していません。後者のような構造が大切なため、後者のイメージに沿う計画を立ててください。 [8/31 審査会]	土地区画整理事業で整備するのですが、公園整備事業者も含め、イメージに合うように考えていきたいです。 [8/31 審査会]	補足資料 35 で説明済 [9/30 審査会]
	12-7	補足資料 21 の『環境保全措置のイメージ』の図について、スケール(規模)を明記してください。 [8/31 審査会]	今後、検討します。 [8/31 審査会]	補足資料 35 で説明済 [9/30 審査会]
	12-8	各種の個体群維持にとって適切な面積だと考える根拠を教えてください。また、草地環境は広大な面積があるため、環境保全措置の実施により、草地環境に依存した生態系が、どの程度担保されるのかについて、説明が必要です。 [8/31 審査会]	持ち帰り、次回以降回答します。 [8/31 審査会]	補足資料 35 で説明済 [9/30 審査会]
	12-9	余程重要な生物個体を除いて、地域個体群の維持が大切なため、周辺にどれ位退避できるのか、存在しているかということが重要な指標になると思います。 (対象事業実施区域内で) 地域個体群の存続を重視して保全を行うのであれば、これで大丈夫だという説明をしてください。 [8/31 審査会]		補足資料 35 で説明済 [9/30 審査会]
	12-10	補足資料 21 について、図に記載されている水路は、相沢川の切り回した暗渠化された水路なのか、あるいは別の水路なのか、教えてください。 [8/31 審査会]	相沢川の切り回した水路から別に取水し、ここに流すような計画で考えているところです。 [8/31 審査会]	説明済 [8/31 審査会]
	12-11	(水路)の東側に調整池を計画されているという理解で良いですか。 [8/31 審査会]	調整池は(水路)の東側です。 [8/31 審査会]	説明済 [8/31 審査会]
	12-12	西側に切り回しの相沢川の下流部がくるというイメージが良いでしょうか。 [8/31 審査会]	詳細な構造については、検討はしていますが、調整池に先に入れるのか、取水してから入れるのかについて、具体的な検討を進めているところです。 [8/31 審査会]	説明済 [8/31 審査会]
	12-13	排水計画と環境保全措置の連携が具体的に示されていません。調整池 3 を地下式にする必要性を説明してください。 [8/31 審査会]	調整池 3 については、大きな面積を使用することから、将来の上部の土地利用を踏まえて地下化を想定しています。 [8/31 審査会]	説明済 [8/31 審査会]

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
12 生態系	12-14	環境保全措置のゾーンは、公園内の土地利用として、東側に人工的な土地利用が配置されるという理解で良いでしょうか。 [8/31 審査会]	公園内の土地利用が図られると考えて御理解いただければと思います。 [8/31 審査会]	説明済 [8/31 審査会]
	12-15	ビオトープ的な環境の湿地と湿性草地が並ぶという理解で良いですか。 [8/31 審査会]	補足資料 21 に記載した図面の場所は地形上窪んでおり、東側の小高いところの地下に調整池を造るイメージと考えていただければと思います。 [8/31 審査会]	説明済 [8/31 審査会]
	12-16	補足資料 21 について、湿地と草地をモザイク状に配置すること（湿性草地の面積が限定され、湿地も分断的に配置されるような環境づくり）で、乾性草地を要する生物全体に対する環境保全措置として十分なのか疑問があります。モザイク状にする意義を説明できるようにしてください。 [8/31 審査会]	持ち帰ります。 [8/31 審査会]	補足資料 35 で説明済 [9/30 審査会]
	12-17	補足資料 23 について、農地間の空間は、乾性草地の重要な空間になるのではないかと思います。地下化してできる盛土空間の周辺の草地環境の創り方が環境保全措置として重要であり、線的に造ることは、面的な乾性草地の保全に繋がらないため、可能な限り具体的に示してください。 [8/31 審査会]	持ち帰ります。 [8/31 審査会]	補足資料 33 で説明済 [9/30 審査会]
	12-18	準備書 P9. 10-144 に示される調整池 3 付近の『保全対象種の生息環境』は補足資料 21 でイメージが示されましたが、調整池 4 付近は、どのように考えていますか。 [8/31 審査会]	貴重種としてはホトケドジョウが確認されていますが、この部分については、準備書というよりは、事業実施段階でと考えています。 [8/31 審査会]	補足資料 36 で説明済 [9/30 審査会]
	12-19	ホトケドジョウのみで良いのか、面積的にどの程度確保できるのかなども補足資料 21 のようなイメージ図と併せて準備書段階で示すべきです。 [8/31 審査会]	はい。 [8/31 審査会]	
	12-20	【審議での指摘事項等】 調整池 4 付近の『保全対象種の生息環境』の方が、重要性が高いと思います。準備書の段階でそこも明らかにされるべきです。 [8/31 審査会]	-	補足資料 36 で説明済 [9/30 審査会]

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
12 生態系	12-21	<p>【審議での指摘事項等】 公園整備事業と一体的に調整池3の空間をどうするのか調整を図ったうえで、環境保全措置の限界を決める必要があると思います。時間的に可能であれば、是非、両事業で調整してください。 [8/31 審査会]</p>	-	補足資料27で説明済 [9/30 審査会]
	12-22	<p>補足資料33について、「有機的」の意味を具体的に説明してください。 [9/30 審査会]</p>	<p>核となるところ（公園の緑地、新たに創出する生息環境、畑など）と、その間を繋ぐ線的な緑地（街路樹など）を含めて、可能な限り一体的に生息環境を創出していきたいという考えで有機的と表現しています。 [9/30 審査会]</p>	説明済 [9/30 審査会]
		<p>生物の移動や生物にとって機能的に繋がっていることが重要であるため、評価書段階ではこのような概念や御説明の内容を入れて具体化して明確にし、今後の内容に繋げてください。 [9/30 審査会]</p>	=	
	12-23	<p>多種多様な動植物を守って欲しいという住民意見について、多種多様な生態系を守ることと、保全対象種を守ることとは、必ずしも同じではないと思います。もう少し意見に対応する内容であるべきだと思います。 [9/30 審査会]</p>	=	=
	12-24	<p>意見書に対する都市計画決定権者の見解に記載されている専門家等の助言について、準備書段階で既に助言を貰っており、どのようにするかという方向性が決まっているということで良いですか。 [9/30 審査会]</p>	<p>引き続き、専門家の意見をいただきながら、生息環境の創出をやっていきたいという観点から、このように記載しています。 [9/30 審査会]</p>	説明済 [9/30 審査会]
		<p>これから、まだ意見を聞きながら決めていくということですか。 [9/30 審査会]</p>	<p>はい。 [9/30 審査会]</p>	
12-25	<p>補足資料18について、可能な限り、維持管理者を明確にするとともに、常に環境の変化を把握し、ホトケドジョウが生息・維持できるよう配慮してください。 [9/30 審査会]</p>	=	=	

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
12 生態系		<p><u>(準備書で地下式とした)調整池4を地上化してホトケドジョウの生息空間のような水路環境を整備されることについて、(準備書で)地上式と記載している調整池にそのよう環境の形成は出来ないのですか。</u> [9/30 審査会]</p>	<p><u>具体的な設えについては、今後、公園整備事業等と調整を図りながら、地形や自然豊かな環境を生かし、環境に負荷の少ない調整池を検討していきます。</u> [9/30 審査会]</p>	<p>説明予定 [次回]</p>
	12-26	<p><u>後背地の環境と上手く繋げるような形で可能な限り余剰のある空間作りをしていかなければ、結局、止水域のまとまった空間しかできないというようなことになり兼ねないので、是非、連続性と後背地との一体性に配慮書した空間作りをしていただきたいです。</u> [9/30 審査会]</p>	<p>＝</p>	
		<p><u>『準備書に対する意見書の概要及び都市計画決定権者の見解』に記載されている(周辺の緑との)連続性への配慮について、対象事業実施区域内全体の中で連続性を持たせる方向で進んでいるということですか。</u> [9/30 審査会]</p>	<p><u>全体としては、道路などを張り巡らせる際に、可能な限り緑地を入れていくだとか、街路樹を植えるだとか、そのようなことを全体で考えております。</u> [9/30 審査会]</p>	<p>説明済 [9/30 審査会]</p>
	12-27	<p><u>緑道のような形で中が繋がりが、全体、周辺に繋がっていくことが一番良い方法だと思いますので、是非、検討していただきたいです。</u> [9/30 審査会]</p>	<p>＝</p>	
		<p><u>調整池4について、補足資料27では「環境に負荷の少ない」という表現がされている一方で補足資料36では、環境を創出することに寄与するものとして位置づけるようであり、同じ資料の中で矛盾しています。補足資料27についても、生息環境の創出に寄与する調整池として位置づけていくことを記載してください。</u> [9/30 審査会]</p>	<p><u>調整池と、ホトケドジョウの水路環境は別物ですが、うまく連携させながらやっていきたいと考えています。</u> <u>書きぶりは検討します。</u> [9/30 審査会]</p>	<p>説明予定 [次回]</p>
	12-28			
13 景観	13-1	<p><u>土地区画整理事業の供用後の土地被覆を教えてください。</u> [6/28 審査会]</p>	<p><u>道路等の公共構造物は舗装等、宅地は土のままを想定しています。</u> [6/28 審査会]</p>	<p>説明済 [6/28 審査会]</p>
	13-2	<p><u>宅盤にアクセスする道路を表現してください。</u> [6/28 審査会]</p>	<p>＝</p>	<p>補足資料11で説明済 [7/27 審査会]</p>

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
13 景観	13-3	<p>圍繞景観を近景で評価していることについて、対象事業実施区域内で遠景の眺望点になるような景観スポットの検討が必要です。 [7/27 審査会]</p>	<p>足元並びにその周辺遠景の見通しも考慮しながら調査したものの、もう少し他に良い地点があるのかもしれないため、その辺りは検討していきたい。 [7/27 審査会]</p>	<p>補足資料 37 で 説明実施 [9/30 審査会]</p>
	13-4	<p>海軍道路の桜並木は、遠景における、対象事業実施区域内の景観資源になっていると思います。 (準備書の) A地点よりも(補足資料 37 の) ②地点の方が景観資源としての改変の影響を表現できると思いますので、そこはきちんと評価をしてください。 [9/30 審査会]</p>	<p>桜並木をどうするかということは、今後検討していくということになっていきますので、今回の御意見も入れながら検討の課題としてさせていただきたいと思います。 [9/30 審査会]</p>	<p>説明予定 [次回]</p>
		<p>海運道路沿いが眺望景観の場にもなるという観点で、海軍道路自体からの景観設計の検討や、(補足資料 37 の) ④地点で新たに見下ろし的な空間ができる可能性を踏まえ、眺望を創るというような考え方で、景観軸になるような空間がどのようなところにあるのかというようなことを評価する必要があるのではないかと思います。考えを聞かせてください。 [9/30 審査会]</p>	<p>＝</p>	
	13-5	<p>桜並木に対する景観影響を準備書で表現しきれていないと感じています。遠景における桜並木がこの地域の景観軸になっているため、きちんと評価しておく必要があると思います。(補足資料 37 の) ①地点を評価の視点に加えてはいかがでしょうかと思います。 [9/30 審査会]</p>	<p>1 回目では現状を伝え、意見交換を行い、2 回目は緊急宣言の関係で延期中であり、これから深度化していく状況です。 [9/30 審査会]</p>	<p>説明済 [9/30 審査会]</p>

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
14 人と自然との触れ合い活動の場		<p><u>人と自然との触れ合いの活動の場（鎌倉古道北コースなど）あるいは景観利用の場（海軍道路の桜並木など）における触れ合い活動への影響について、どのように考えていますか。</u></p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p><u>人と自然との触れ合いの活動の場の項目で予測評価していません。鎌倉古道北ルートは改変による影響があると予測評価を記載していますので、評価書作成段階で更に検討しながら、より影響の少ない方向に持っていきたいと思っています。</u></p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p>説明予定 [次回]</p>
	14-1	<p><u>工事期間中における人のレクリエーション行動の変化を踏まえた工事計画を立てることが大変重要だと思います。触れ合いの拠点へのアクセス性の変化や、周辺に新しい散策を求める方々も出てくるかもしれないということ踏まえ、是非、予測評価をしてください。</u></p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p>＝</p>	
15 廃棄物等	15-1	<p>場外搬出する建設発生土について、埋立先や埋立方法など、もう少し具体的な情報を教えてください。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>次回以降、対応します。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>補足資料 25 で 説明実施 [8/31 審査会]</p>
	15-2	<p>搬出先は答えられないとしても、なるべく近い埋立場所を探すことや、例えば、搬出車両のエネルギー消費量の低減、土対法に基づく適切な処理などは回答した方が良いと思います。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>分かりました。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	
	15-3	<p>建設発生土の具体的な搬出先等が決まっていないことについて、補足資料 25 の内容を準備書にもきちんと記載してください。</p> <p>建設発生土を管理する一貫した法律がないため、場外搬出する建設発生土については、発生者が責任をもつべきだと思います。どのように責任を持ち、どのように配慮するのか、(場内で) 利用できなかった場合の対応などを準備書段階で記載してください。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	<p>検討します。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	<p>補足資料 38 で 説明実施 [9/30 審査会]</p>
	15-4	<p><u>補足資料 38 について、搬出先を明確にするため、可能であれば、指定処分という言葉を入れることが望ましいと思います。</u></p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p><u>検討します。</u></p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p>説明予定 [次回]</p>

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
16 温室効果ガス	16-1	建設機械の選定や工事用車両の走行ルートの変更の可能性など、様々な不確定要素がありますが、本事業による温室効果ガスの低減の程度を公表する予定はありますか。 [8/31 審査会]	今の段階で、公表するという考え方はないのですが、先生の御意見を踏まえ、今後、検討させていただければと思います。 [8/31 審査会]	補足資料 39 で 説明済 [9/30 審査会]
	16-2	現時点で不確定要素が含まれる内容であり、努力目標のような形で示されていますので、是非、公表を検討してください。 [8/31 審査会]	-	
17 地域社会	17-1	工事用車両の運行の予測評価で限界需要率を超過しているが、対象事業実施区域の南側ルートの使用の予定はないのですか。 [6/28 審査会]	南側は住宅が多いため、現時点では北側と考えています。さらなる対策については、引き続き検討していきたいと考えています。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]
	17-2	工事車両の運行に伴う歩行者・自転車の安全に関する環境保全措置の「迂回ルート」は具体的にどこを指しているのですか。 [6/28 審査会]	今後検討していくなかでということに記載しています。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]
	17-3	工事用車両の予測地点について、地域社会 5でも予測評価を行う必要があるのではないですか。 [6/28 審査会]	工事用車両の走行ルートは北側を想定していることから、予測は地域社会 1～4としています。環状 4 号線は一般車両も走行することから、南側を工事用車両が走行しない計画としています。 [6/28 審査会]	補足資料 12 で 説明実施 [7/27 審査会]
		環状 4 号線は工事中も南から一般車両が走行すること、工事車両は対象事業実施区域内を走り回ることから、工事用車両が走行しない南側にも影響はあると考えられ、北側のみは心配です。 [6/28 審査会]	工事用車両の走行ルートは北側を想定していることから、予測は地域社会 1～4としています。なお、環状 4 号線は一般車両も走行することから、南側にいかないような計画としています。 [6/28 審査会]	
		どのように対応していくのか、事務局とも相談し、また回答してください。 [6/28 審査会]	分かりました。 [6/28 審査会]	
	17-4	工事用車両に伴う南側から環状 4 号線に流入する一般車両への影響について、今あるデータから定量的に渋滞長、予想通過時間、旅行時間を示すなど、影響の程度を市民の方に見える形で示す必要があります。 [7/27 審査会]	持ち帰ります。 [7/27 審査会]	補足資料 29 で 説明実施 [9/30 審査会]
17-5	補足資料 12 について、運行ルートや運行時間帯を調整した結果、どのような数字になり、影響を回避出来るようになるのか、計算結果を示してください。 [7/27 審査会]	持ち帰ります。 [7/27 審査会]	補足資料 29 で 説明実施 [9/30 審査会]	

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
17 地域社会	17-6 ※	関係車両の走行について、地域社会 7 は交差点ではないため、その南側の瀬谷駅方面の交差点で予測評価すべきではないですか。 [7/27 審査会]	両事業で調整します。 [7/27 審査会]	補足資料 40 で説明実施 [9/30 審査会]
	17-7	補足資料 40 の 26 ページ以降の流入部の記号について、表の中の数字と図のアルファベットが対応するように修正してください。 [9/30 審査会]	二	説明予定 [本日]
	17-8	補足資料 29 環境保全措置として「ピーク時間帯における運行ルート分散」を追記する(9ページ)とのことですが、分散を行った結果の計算結果が本資料ではないかと思しますので、今回の予測結果への対応になっていないのではないですか。 [9/30 審査会]	1 時間で通勤者が一斉に帰るという想定で工事用車両台数を算出していますが、作業終了時刻に応じて退勤時間をずらすことで、少しでも影響が少なくなるのではないかと思い、新たに「ピーク時間帯における運行ルートの分散」というような文言を付け加えようかと考えています。 [9/30 審査会]	説明予定 [本日]
	17-9	地域社会 2 について、これ以上の対策が困難であるならば、市民の方々に理解を求めるしかないのではないかと思います。 交差点需要率や車線混雑度は市民の方々が理解し難いため、仮定が必要かもしれませんが、渋滞長や旅行時間など理解しやすい指標で示すこと必要だと思します。 [9/30 審査会]	1 時間で全部の車が退勤するという最悪の状態を想定した予測結果のため、保全措置としてここに、「ピーク時間帯における運行ルートの分散」を追加したいという考えです。 [9/30 審査会]	説明予定 [本日]
		現在の仮定に対し、退勤の分散を想定した予測値を示すことが必要だと思します。 [9/30 審査会]		
		現在、1 時間で退勤と仮定した値があるわけですから、機械的にも均等に分散させ、交差点の混雑状況がどの程度改善できるのかを予測して示していただくことが必要ではないかと思います。 [9/30 審査会]		
	検討した結果は、次回以降の審査会で説明してください。 [9/30 審査会]	はい。 [9/30 審査会]		

※ 同日審議の関連事業における指摘、質問事項等

■ 事後調査について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
B 事後調査	B-1	法に基づく事後調査は行わないとしても、予測と同じ条件になっている状況か、モニタリングが必要です。モニタリングを行う予定はあるのでしょうか。 [6/28 審査会]	例えば地下水など、計画的にモニタリングを行う項目もありますので、事業をやりながらどこまでできるかも含めて、今後の課題とさせていただきます。 [6/28 審査会]	補足資料 26 で説明済 [8/31 審査会]
		前向きな対応をお願いします。 [6/28 審査会]	-	
	B-2	着工後、現時点で想定できない状況が発生することも十分有り得るため、モニタリングに関しても状況の変化に応じて適切な対応を実施してください。 [8/31 審査会]	-	
	B-3	地下水の事後調査について、水よりも密度が高い重金属のような汚染物質の沈殿により、下の方の汚染も考えられるため、採水地点（水位）を可能な限り工夫してください。 [8/31 審査会]	-	補足資料 41 で説明済 [9/30 審査会]
B-4	準備書の表 9.4-21 の事後調査の項目に BOD や SS を加える必要があります。 また、補足資料 26 の『④水質-水の汚れ』については、健康項目の他にダイオキシン類を加える必要があります。 [8/31 審査会后]	-	補足資料 41 で説明済 [9/30 審査会]	

■ その他

項目	No	指摘、質問事項等	事務局の説明等	取扱い
C その他	C-1	<p>関連事業について、最終的には環境の総合的な評価が必要だと思います。可能な限り統合的な評価ができるよう、資料の作り方、審議の進め方を検討してください。</p> <p>[6/28 審査会]</p>	-	事務局資料で説明済 [7/27 審査会]
	C-2	<p>オオタカに関する記載方法について、非公開が行き過ぎではないですか。どのような予測が行われ、影響の程度がどうかも一切外に出せないのはおかしいと思います。</p> <p>白紙は是非回避していただきたいです。</p> <p>[6/28 審査会]</p>	<p>この程度はやはり出すべきではないかなども含め、図書上、非公開になっている部分については、次回、非公開で審議をお願いします。</p> <p>[6/28 審査会]</p>	非公開審議実施 [8/31 審査会]
	C-3	<p>花博後の再開発の計画について、将来的な方向性が変わる可能性があるのであれば、それを踏まえた議論も必要になってくるのではないですか。</p> <p>審査会はどのようなスタンスで審査すれば良いのか、一度整理していただきたい。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>事業者への確認内容を踏まえ、審査会にどのように審議していただくのか検討し、次回報告します。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	事務局説明済 [8/31 審査会]
	C-4	<p><u>生態学では、生態系が接している場所を指すが、事業者は色々なタイプの生態系を含むところ（ビオトープのようなもの）を指しているように思われます。アセス関係のエコトーンという用語の使い方を教えてください。</u></p> <p>[9/30 審査会]</p>	<p><u>確認します。</u></p> <p>[9/30 審査会]</p>	事務局説明予定 [本日]